

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名:南幌町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
南幌町	<p>運行系統名:南幌町オンデマンド交通区域 運行区間:南幌町内 運賃:大人300円、子ども100円</p> <p>事業概要:効率的な運行を実現するため、AI配車システムを搭載した「オンデマンド交通」の運行を令和3年10月より開始。</p>	<p>前回の改善点として上げた新たな利用者の発掘と利用者数の増加については、令和6年10月号の町広報により、利用促進の周知を行うほか、令和6年2月に行ったアンケート結果の周知を行い、オンデマンド交通への理解を深める取り組みを行った。また、令和6年4月より利用者ニーズに沿った回数券の導入を行い、利用者の増加にもつなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p><b>A 【目標達成状況】</b>            ①目標値(1日平均利用者数)40人に対し、実績は45.9人で、目標値を上回った。            ②目標値(満足度)90%に対し、実績は95%で、目標値を上回った。            ※2月アンケート実施  <b>【効果達成状況】</b>            高齢者を中心とした、交通弱者の生活の足の確保と、交通空白地域の解消が図られた。         </p>	<p>令和6年度は事業3年目となり、利用者のニーズについて、要望が多かった回数券の導入と、町内イベント開催時の試験運行を実施した。引き続き、運行時間や運行曜日の拡大、利用料金の引き下げ等について要望があるため、既存の公共交通機関である路線バス、タクシー事業者との関係やバランスが大事であるため、そのニーズが他の公共交通に与える影響を考え、適切に判断すべきと考える。</p> <p><b>【実施内容】</b>            ・広報誌やSNS等を活用した事業周知            ・市民ニーズを把握するためのアンケート調査や利用者への乗り込み調査         </p>